

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-1-1	事務事業名 青嵐中学校校舎等建替事業	所管部課 学校教育部教育庶務課					
事務事業の概要	事務事業の目的 青嵐中学校の蜂の巣校舎は昭和41年建設のため、老朽化が進み建替えを実施する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)校舎等の建替					
	実施内容、実施方法 平成15年度 基本設計、地質調査 平成16年度 実施設計、用地取得 平成17年度 解体・建築・機械・電気設備工事 平成18年度 建築・機械・電気設備工事 平成19年度 外構工事等	根拠法令等					
	事業開始時期 平成 15 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 定例打合せ会の回数	活動指標の考え方(定義) 設計、工事等の受注業者との定例打合せ会の回数					
	土地所有者との交渉回数	購入予定の土地所有者との交渉回数					
	成果指標名 設計業務の進捗率	成果指標の考え方(定義) 設計業務が進捗した割合					
	事業用地の取得率	事業用地を取得した割合					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		0	18,585	290,952	951,560	
	国庫支出金					147,792	
	都支出金	千円					
	地方債				259,900	714,700	
	その他				21,000		
	一般財源			18,585	10,052	89,068	
	所要人員(B)	人		0.05	0.08	0.12	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	414	666	999	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	18,999	291,618	952,559	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(定例打合せ会の回数)	千円	0	1,117.57	22,432.17		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			15	30
		実績値	回		17	13	
活動指標	目標値	回			5	0	
	実績値	回		0	4		
成果指標	目標値	%			100	0	
	実績値	%		100	100		
成果指標	目標値	%			100	0	
	実績値	%		0	100		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	事業中の近隣住民への交通安全の確保、振動・騒音を極力最小限に抑える要望。 早期完成の要望あり。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	学校の統廃合による校舎建替は多少あるが、老朽化単独の建替事業は少ない。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	単位当たりコストは、事業費を定例打合せ回数で除いたもので16年度は、設計費以外に用地購入費用等も含まれており一概には比較できない。					

コード 12-1-1	事務事業名 青嵐中学校校舎等建替事業	所管部課 学校教育部教育庶務課
---------------	-----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	設計定例会・交渉回数共に目標回数を充足できなかったが、実施設計・事業用地の取得は滞りなく終了した。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	次年度の解体・建築工事を施工するためには、実施設計の完了・事業用地の取得は必須条件である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	職員配置も概ね適正であり、設計業務の落札比率も適正であった。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	実施設計の入札については、競争入札を行っており公平性が保たれている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	校舎建替に関する詳細設計が完了し、地元説明会で新設校舎の概要を報告することで、より良質な教育環境が整備される事に対し地元住民に多くの期待感を与えた。事業用地も土地所有者の協力を得て順調に取得できた。

17年度における改善点	校舎完成迄の継続的な事業である。地元説明会において指摘のあった工事車両による地域住民の安全確保、工事に対する振動・騒音等の対策を遵守していくこと及び本格的な工事が開始されるなかで絶えず地域住民とのコミュニケーションを図っていく必要がある。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。